

平成30年7月17日

苫小牧市長 岩 倉 博 文 様

苫小牧地区空手道連盟  
会長 越 川 慶 一

## 空手道競技用フロアマット整備の要望について

### 趣旨

近年の空手道競技を取り巻く環境は、年々、競技人口が減少傾向にある中、2020年に開催される東京オリンピックの追加種目として正式に採用されたことで、今後の空手道競技に対する理解を深めるとともに、競技人口の増加に向けて、大きな期待を膨らませております。

当連盟は、苫小牧市長をはじめ関係者のご理解とご協力をいただき、昨年より2年連続で「北海道少年少女空手道錬成大会」が、ここ苫小牧市総合体育館で開催され、選手及び大会関係者約1,500名が苫小牧に訪れる大きな大会となりました。今後においても、この大会が苫小牧市で開催されるよう北海道空手道連盟への働きかけを行いながら、大会誘致に向けた調整を行ってまいりたいと考えております。

さて、近年は、空手道競技のルール改正に伴い、競技者同士の事故やケガを未然に防止する観点から、試合中はもちろん、練習中においても、選手の安全な競技実践に向けて、空手道競技用フロアマットの使用が不可欠であり、早急な整備が求められております。苫小牧地区空手道連盟としても今後は、フロアマットの購入を予定しておりますが、費用面については大きな課題となっております。

つきましては、今後における競技者同士の事故やケガを防止する観点や災害時における避難者用のマットとして利用する観点、さらに大会誘致に対する優位性などの観点からも考慮していただき、「空手道競技用フロアマット」の整備について要望いたしますので、特段のご配慮をお願い申し上げます。

### 要望内容

1. 空手道競技用フロアマット  
6セット（1セット100枚）
2. フロアマット保管場所の整備

以 上